

総務委員会・会議録

- 1 日程 平成24年 3月 2日(金)
- 2 場所 第3委員会室
- 3 開会 午前 9時43分
(休憩11時00分～11時09分 12時01分～12時58分)
- 4 閉会 午後1時23分
- 5 出席者 委員長 水野 薫 副委員長 草賀章吉
委員 竹嶋善彦 委員 堀内武治
// 鳥井昌彦 // 松井俊二
// 佐藤博俊
欠席者 委員 川瀬守弘
- 当局側 市長、理事、総務部長、企画政策部長、消防長、水道部長、会計管理者、南部事業所長、所管課長他
- 事務局 局長、係長

6 審査事項

- ①議案第36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
第1条 歳入歳出予算の補正 歳入中 所管部分 歳出中 第1款 議会費
第2款 総務費(1項32目公共交通対策費を除く)
第9款 消防費 第12款 公債費 第13款 予備費
第2条 継続費の補正 第3条 繰越明許費 第4条 地方債の補正
- ②議案第40号 平成23年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算(第1号)について

7 審査の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成24年 3月 2日

市議会議長 竹嶋善彦 様

総務委員長 水野 薫

(別紙)

総務委員会(3/2)・会議概要

(9:43~13:23)

- ◆開会・委員長挨拶 一問一答でお願いします
- ◆市長挨拶 議論をお願いします

- ①議案第36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
第1条歳入歳出予算の補正 歳入中 所管部分
歳出中 第1款議会費 第2款総務費(1項32目公共交通対策費を除く)
第9款消防費 第12款公債費 第13款予備費
第2条継続費の補正 第3条繰越明許費 第4条地方債の補正

○総務部長 共済費について一括説明

財政課所管分 (齋藤財政課長:説明)
質疑特になし

9:57 財政課了

(議会事務局所管分) (岡本議会事務局長:説明)
質疑特になし

9:58 終了

(行政課所管分) (平出行政課長:説明)
質疑特になし

10:04 終了

(管財課所管分) (大石管財課長:説明)
質疑特になし

10:06 終了

(市税課所管分) (石田市税課長:説明)
質疑特になし

10:11 終了

(納税課所管分) (小田納税課長:説明)

○堀内武治委員

最終補正だが、23年度全体を通して納税状況は例年に比べてどうか。普通なのか、若干滞納状況が増えているのか。改善されているのか。総体としてどう見ているのかについて少し所感をお聞きしたい。

●小田納税課長

まだ2月が過ぎて3月がありますけど、現在滞納者は全体で11,000件くらい。22年度からは滞納整理の強化を法令順守に基づき行っている。

強化を図ることに対して、納めた人から見ると公平性を保つ意味でいい方向で浸透してきている。

4月頃は市民からかなり厳しい意見もあったが、最近では少なくなっている。また、滞納整理を行っている中で配当金があるが、昨年1年間では9,100万円くらいの配当金があったわけですが、本年度2月末までにおいては1億円を超えている。この配当というのは、インターネット公売、あるいは預金、給与等の差し押さえ等の収入で、昨年よりは約18%増となっている。職員が市民への対応がしっかりなされていると評価している。実績も上がっている。

○堀内武治委員

滞納状況が少しでも改善していくという意味では納税義務意識が広がってきているということで評価するんだけど、23年の新聞記事で、窓口での市民とのトラブルの問題があったが、それは偶発的なものなのか、総体として厳しい指導でそういうことが発生する要素が出ているのか、どうとらえているか。

●小田納税課長

昨年12月末、滞納者の方がお酒を飲んで来て、その前も電話の中ではいろいろトラブルというか強い口調のなかでお話をするということに対して、市役所においていただいて話をするということに対してあのようなことになったが、強化を図ることになると納税者から見ると今までは何だったんだろうという話から入りますので、私個人としては想定していたことである。そこは毅然とした態度で、悪質な方にはそのような方針で臨むという姿勢をもっているの、そのようなことも起き得ると判断している。ただし、法令遵守でありますので、面会というか相談を受ける中で納められない人、貧困等の方は執行停止、欠損処理を行っており、納税している方に不公平感がないように取り組んでいる。

○堀内武治委員

納税率の高めていくことは評価するが、一方、市民の生活実態を十分把握したうえで取り組んでいただきたいと思います。

●小田納税課長

そのようにやっておりますので、今後もそのような形で継続してやっていきたいと思えます。

○佐藤博俊委員

軽自動車税の件だが、テレビのニュースだと売れゆきがすごいと聞く。12月末まででは予想、見込みということで出ていると思うが、今後の見込みはどうか。去年よりもふえてきているのか。

●小田納税課長

傾向としては、軽四輪の乗用車が増えており、二輪車については減っている状況である。軽四輪が増えている状況については普通車が若干減っていると思われ、それを軽乗用車に乗り換えている傾向があり、当市も同じ状況と考える。

○佐藤博俊委員

昨年並みか。予測ではエコ減税の関係で盛り上がっていると聞かすが、去年と比較してどうか。

●小田納税課長

昨年の伸び率に対しては若干落ちているが、減税の補助金関係が延長されており、軽四の乗用車等においてもそれを受けられますので、大幅な落ちはなかったという把握をしている。

○草賀章吉委員

たばこ税の件ですが、たばこ1億1,400万円増だが、今値上げ効果だけなのか、当初の予算をかなり下げて組んでいたということだが、6億5,000万円くらいと私の感覚では思っていたんですが、随分増えた。値上げ効果がありすぎたというくらいですが、本数的にはどうなのかとかいうあたりで、最近の推移はどうか。本数はふえてないと思うが、税収がふえているのは値上げだけなのか。

●小田納税課長

22年度10月1日にたばこ税が上がり、23年度の予算を立つ11月頃にはその反動があり、23年度の見込みを22年度よりも23%ないし25%の減を予定していた。23年は12月末までの状況をみるとそれが11%と減る率が少ない実績になった。本数は減っているが、見込みより減ることが少なかったということである。

たばこ消費本数、23年度と22年度比較については横山係長より説明させます。

●横山係長

たばこ税には旧3級品と3級品ではない2種類があり、22年度の実績は1億7,457万5,000本。本数は1億5,841万1千本で、本数は減っているが、税率改正によって税収はふえている。

○草賀章吉委員

22年度のたばこ税収は幾ら。

●小田納税課長

22年度の収入済額は、6億4,820万円余です。

○松井俊二委員

入湯税の減ですが、震災後だけではないと思う。森林の湯へ行くんですが、週末はすごく混んでいる。平日は空いていると思うが、シートピアは値段を下けている割に震災だけで減るとは思わない。その辺はどのように捉えているか。

●小田納税課長

震災だけではなく、節約志向も含まれていると思う。

シートピアについては、約8%の人数が減っており、つま恋は5%減となっている。他の施設は多少の増減はあるが、大型施設の入館者が減っているということが今回の補正の主な原因となっている。ならここは200人くらい減っている状況である。

●松井市長

入湯の関係は、シートピアは明らかに津波と原発の関係。今は工事する人たちが戻りましたけれども、その人たちが利用することがなかった。以前は原発に働きに来ている人が来てくれた。これから呼びかけていきたい。3月11日以降は津波の関係と原発の関係で人数が減ったこと。これは事実である。ただ、つま恋も減っている、それが全てではないが、影響はあるので、対策について検討している。

10:36終了

(市民安全課所管分) (鈴木市民安全課長：説明)

○竹嶋善彦委員

防災ラジオの全体の戸数は配付が終わったと思うが、最近防災ラジオを世帯が別のところで脇屋等申請があれば貸与しているが、企業にも希望によっては配付しているか教えてほしい。

●鈴木市民安全課長

防災ラジオについては、21年度から3カ年かけて、掛川区域の整備率が17%くらいで低かったものですから、順次北部の土砂災害が予想されるところから進めてきている。全体的には60%くらい。掛川区域は56%。2世帯住宅に配付しており、企業にも配付している。

○佐藤博俊委員

103ページ自衛官募集事務費。自衛官が足りないということであるが、国からの依頼はあるのか。自衛官募集の垂れ幕が市役所のはずれにあるが、掛川市から入っているのかいないのか聞きたい。

●鈴木市民安全課長

自衛官募集事務費については、国から支出されるが当初5万4,000円から2万9,000円に減らされている。国からの自衛官が少ないという割りに事務費は減らされているのが実情。毎年自衛隊に入る方については激励会を開催しており、毎年2人から3人が自衛隊へ入隊されている。通算では90名近い方が入っている。

○佐藤博俊委員

激励会の内容を市民は知らない。実際掛川もお世話になることになってはいけないが、非常に大事なことを市民が知らないでいていいのかという気がする。やるなら生涯学習センターでやってはどうか。

●松井市長

掛川地域に募集を推進してくれる人たち5名くらいにお願いして募集活動をしてもらっている。大体採用される人が2名から3名くらい。私と推進員とで激励している。市民に広く知らせていくことも必要があるので工夫していく。

○松井俊二委員

地震計の補修、点検委託料の減ということですが、それとはちょっと違うんですけど、テレビでも最近掛川が出ない。地盤がいいから揺れないのか、もう少し地盤が悪いところならもっと震度が出ると思うんだけど、それが出ないことがあるのかなと思う。袋井とか菊川は震度1でも出る。市民は地盤がよいと感じる。地盤が悪いところ

にも地震計が必要と思うがいかがか。

●鈴木市民安全課長

震度計については、この庁舎北側と大東支所、大須賀支所の3箇所に設置されている。箇所ごとにテレビにも出る。最近結構地震があるが、東北大震災の余震が続いており、県東部までよく震度1とか2の表示が出るが、ここの震度計については感知していない。

○松井俊二委員

3箇所とも地盤がいいんじゃないの。

●大井係長

長谷の地盤は比較的いいと感じている。掛川市の震度は3箇所の一番最大値を最大震度とするということで、仮に長谷が1いかなくても大東、大須賀で1いけば掛川市の震度は1ということになる。ただテレビとかラジオで表示するのは、例えば掛川市長谷震度1、掛川市三俣震度1と表示される。テレビ局によって表示の仕方が異なる。表示の仕方については放送局の考え方もあり、細かく出していただける局と、掛川市震度1という出し方もある。

●鈴木市民安全課長

もう一箇所、気象庁で曾我地区に設置予定と聞いている。箇所数が増えれば地盤による情報も増えることになる。

○鳥井昌彦委員

防災対策費に関連して確認をしたいが、掛川市の中にヨウ素剤の数、保管場所それからヨウ素剤を使う場合は医師の診断が必要だが、医師会、公立病院との関係がどうなっているか。放射線の計量機は今いくつあるのか。

●鈴木市民安全課長

ヨウ素剤については、現在県から配備されている3万錠が大東支所の4階にある。東北大震災を踏まえて、安心安全を確保するために昨年補正で22万3,000錠を追加発注している。発注生産なので3月末までに製造し納品してもらうことになっている。保管場所は、3箇所、大東支所と掛川区域分については三の丸倉庫、大須賀区域については南消防署に配備する予定。配付は7歳未満はシロップで調合する必要がある。救護所に薬剤師や医師がいるので、5箇所の救護所で配布する。掛川区域は西中、東中、桜が丘、大東は保健センター、大須賀は公民館ということで5箇所予定している。

毎年2回くらい、医師会と訓練等打ち合わせているので、配付体制の確認をしたいと思っている。

●大井係長

放射線の測定器は南消防署にある。モニタリングポストが中部電力と県が測定しており、測定器は大東支所に設置してある。それぞれの庁舎の窓口でモニターで放射能が適正值に入っているかどうか観測している。異常あれば、中部電力と県から連絡が来る体制になっている。その他給食センターに食材の測定としてこうよの丘に掛川市が設置している。

○鳥井昌彦委員

ヨウ素剤のことはわかった。測定器が少ないのではないのか。こういう時期なので中部電力に話をすればくれるんじゃないかと思うし、くれなければ買わないといけないと思うがいかがか。

●松井市長

環境資源ギャラリーの議会の中で、焼却施設に設置した方がいいということで、検討している。いずれにしろどの程度設置したらいいのか議論していきたい。

○堀内武治委員

ヨウ素剤は、被ばくした時、いろいろな線があるが何にどう効くのか。

●鈴木市民安全課長

ヨウ素が甲状腺に集まるので、甲状腺がんになる率が高まるということ。ほかの放射線には対応しない。

○松井俊二委員

大東支所にあるヨウ素剤もだいぶ前からあるが、消費期限とかはどうなっているのか。

●鈴木市民安全課長

消費期限は3年なので、3年ごとに更新している。

11:00 休憩

11:09 再開

(企画調整課所管分) (栗田企画調整課長：説明)

○佐藤博俊委員

ゴルフの藤田プロがふるさと大使になったのは事実か。

ふるさと大使事業の活発化は本市にとって重要なことである。過去にはふるさと大使を生涯学習センターに招いて事業を開催してきた記憶である。毎年できないかもしれないが、この事業の企画について、また今回減額している理由について伺う。

●栗田企画調整課長

ゴルフの藤田プロはお茶大使ということで、吉岡亜衣加さんに続いて2人目。ということで「掛川茶の深蒸し茶」をPRしていただいている。昨日、お茶大使として競艇の重野選手を委嘱し、現在3人がお茶大使として活躍していただいている。

ふるさと大使は現在17名の方が親善大使となっていていただいている。毎年、懇談会を開いて委員の状況報告していただいている。そのほか、掛川市の観光や木造駅舎寄付の関係についてPRしていただくと共に、その他の情報発信もしていただきたいということで実施をしています。

○佐藤博俊委員

任命はいいが、ふるさと大使事業のアピールも必要と思う。忘れているようでは困

る。根本である掛川市の活性化策が大事と考えるがいかがか。

●栗田企画調整課長

ふるさと大使へは、掛川茶や駅舎の関係、お茶パックに工業団地等のPRを入れて情報発信してくださいとお願いしている。毎年懇談会を開催のPRも報道に行っている。

○鳥井昌彦委員

お茶だけに偏り過ぎていないか。他のもの考えられないのか。

●松井市長

トマトもいちごもメロンなどもありますので、今後、検討したい。ただ何と云っても掛川の農産物の中に占めるお茶の割合、茶商、機械メーカーもあり、お茶は基幹産業であるので全国に情報発信していきたい。さらに、他の作物も検討していきたい。

○松井俊二委員

木造駅舎寄付について、市民の推譲の気持ちが増えて5,700万だが、駅舎の横にある東海ツアーズの建物が木造駅舎に合わないと言われた。対応はできるのか。

●松井市長

木造駅舎は目標額達成した。市民の皆様に感謝とお礼を申し上げます。もう少し保存の会でも頑張ってもらっている。JRの建物も外壁を木造にするくらいのことを検討していきたい。協議はまだしていない。5,000万超えたものはそういうものに活用したい。その他、座る場所やトイレなどの話もあり、周辺含めて検討したい。

○堀内武治委員

JRの東海ツアーズの建物が木造駅舎に合っていないのはそのとおり。どう整備するかは議論があってもいいと思う。天浜線の利用しやすい通路作るとか、検討要素はある。組織的に議論することを考えたらどうかと思う。

●松井市長

JRの所有物件については、市の希望は難しい。トイレ等は市の所有なので、改めて天浜線の話もあるので検討を指示したい。財源が伴うので、どの程度の対応が可能か検討を進めたい。

(生涯学習まちづくり課所管分) (中山生涯学習まちづくり課長：説明)

○鳥井昌彦委員

100ページの南郷地域生涯学習センター工事費について、規模と地元負担はどうなっているのか。

●中山まちづくり課長

規模は約500平米の建坪。地元負担は2000万円。宝くじの助成金1,500万、市が1,000万。残りは南郷保育園の売り払い収入を基金に積み立てていたもの充てている。建設場所は河合邸を市に寄贈していただいた所である。

○堀内武治委員

80ページ自治総合センターコミュニティ活動事業助成金620万円について、3地区とも屋台か。自治振興費の屋台は中止したはずだが、どうなっているのか。

●中山まちづくり課長

コミュニティ活動助成事業の内訳ですが、いずれも祭典屋台の関係の事業で、神代地地区は天幕、上張区は屋台彫金、三井区は太鼓です。100万円から250万円までの10分の10の補助金です。旧掛川市当時は、祭典関係事業には助成しないということだったが、合併後に取り扱いが変わり、祭典関係事業も対象となった。

(IT政策課所管分) (鈴木IT政策課長：説明)

○竹嶋善彦委員

46ページ光ファイバー網整備事業費補助金7,050万円減額だが、大須賀地区で業者が先走ってやったということだが、それに対して全体の遅れが出てくるのか。今後の計画はどうなるのか。

●鈴木IT政策課長

大須賀地区を整備することにより、業者のインセンティブを高めるということで、城東地区、大東地区、原谷地区が自主整備された。このような方法で今後、市北部地域の事業に繋げていきたいと計画している。北部地域は回線数等、規模が採算ベースにあわないといわれていた。十分に交渉しながらインセンティブを高めていくという行動を起こしてきた。北部も県の補助制度でとっていたが、通信業者は難しいとのことだった。現補助スキームではできないとのこと。掛川市だけでなく、森、島田、藤枝等の周辺地区の毛北部の一部でもこのような状況がある。周辺地区市町と共同しながら補助スキーム変更の要望活動を行っていきたい。技術革新により事業費そのものも下がってくると聞いている。通信業者と協議しながら、早期に整備されるよう推進活動していきたい。

○竹嶋善彦委員

山に入れば入るほど営業しながら生活していくことも可能なので、積極的に加入を高めるようにしてぜひ進めてほしい。

エリアの問題で、水道事業所に光ファイバーが入れると聞いたが、どんな状況になっているか。

●鈴木IT政策課長

掛川市には電話局が8局あり、掛川局のみが光の整備がされていた。通信事業者は局ごとにすべて整備していきたいとのこと。三笠、伊達方、原泉の3局を進めていきたいということ考えている。

ご質問の、水道事業所は伊達方局管内に位置しているため、今のところ光ファイバーの敷設はありません。

○草賀章吉委員

事業費1億4,100万で、補助金7,050万円が皆減となったということであるが、市長聞いて下さい。原谷局は光が通じました。私の地区は上西之谷ですが、そこだけが残されているのです。中山間地である田舎の政策として、情報機能を引いてあげられ

ば活性化の手段出てくると考えている。是非この事業を進められたい。大須賀からやるというのはわかるが、業者は効率悪いところやらない。県の補助は田舎の奥の方を考えてもらいたい。今、中西之谷まで通じているが、その先まで実施したらいくらかかるのか、7,000万円以内だったら市の補助金でやるようにもって行っていただきたい。

●松井市長

7,000万円は、大須賀、大東、城東、原谷の全てをやるお金として掛川市として限度額7,000万円を出すということで、県の補助事業を絡めてやるということで大須賀地区に限定して補助制度に載って始めたものです。

この制度で北部も進めていきたいと思っていたが、交渉の過程では従来の補助制度では光ファイバーが敷けないという話がある。7,000万円で全部ができる目処が立てば事業推進に努めたいと思っているが、厳しい状況である。今は事業者側と折衝している段階であり、当初予算には計上していない。

○草賀章吉委員

田舎の住民は、若手がインターネットで活路見出したいということを思っている。私は光の導入に向けて署名活動をしたいと思っている。知事の言っている内陸フロンティアにならないので、是非進めていただきたい。

●鈴木IT政策課長

これからも引き続き加入促進を図っていききたい。加入率を上げることにより通信事業者のインセンティブを高め整備推進を図っていききたい。

○松井俊二委員

光の加入にくる。その来る人は東京方面の遠い人なので不審である。どこへ相談に言ったらいいいのかわからない。教えていただきたい。

●鈴木IT政策課長

いろんな業者が入ってきている。説明内容等をしっかり確認してもらい、不備のないようにし、不明なところがあればIT政策課に連絡していただければ確認したい。

11:56了

市民課説明（田代市民課長）

○竹嶋善彦委員

外国人の最近の登録。どのくらいの数か。在住しているか。

●田代市民課長

外国人の人数は、21年3月末5,542名から徐々に減少しています。23年3月末で4,251人。今現在は4,100名弱の外国人が登録されています。

12:01休憩

12:58再開

出納局説明（岩本会計管理者）

○鳥井昌彦委員

利息の42万4,000円は、元金いくらに対するものか。利率は何%か。

●岩本会計管理者

これは市の会計管理者口座に入ります市税等、市の歳計現金の余裕がある毎年6月から翌年2月の間は支払いが少なく、余裕が出るので、この間に1月長くて3ヶ月くらいの定期預金として預けるので、この総額が累計で80億円。利率は1月0.11%、これにより得る預金利子です。昨年は50億程度で今年は80億、30億程度今年は効率的に運用させていただいた。

消防署説明（白畑消防総務課長）

○堀内武治委員

消防団福祉共済金の遺族見舞金、入院見舞金は、団員であれば病気とか、原因とか関係なく見舞金や交付金は出るのか。

●白畑消防総務課長

入院は、事故または疾病による入院に対して。公務で活動中に怪我した場合には、公務災害補償で補償するが、さらに手厚く消防団員を援助するために共済金をかけていて、入院に対しては事故または疾病、どんな病気でも1日あたり1,500円が支給されることになっている。遺族援護金は、公務又は公務外で死亡した場合に、遺族に対して100万円支払われる。交通事故でもそうです。

○松井俊二委員

消防団の安全対策の面のヘッドライトとかいろいろな備品の数で、今後どのような対応をしていくのか。

●白畑消防総務課長

ヘッドライトは、予算は今まで年間30ずつしか渡せなかった。今回ヘッドライトは603、足りない部分をすべて団員に貸与。ライフジャケットは400着。内訳としては掛川区域は各分団10、大東大須賀は15ずつ各分団に貸与したい。トランシーバー160機。30分団5機と、団本部、本部長等が連絡用に10機。夜間の災害時に赤い点灯する懐中電灯、交通整理をする誘導棒、これを各分団5本ずつ150本。災害現場の投光機を消防車両に積んでいるが、割と明るくないということでバルーン型を4機、掛川区域に2機、大東大須賀区域に2機、合計4機置く予定でいる。

◎水野 薫委員長

以上で議案第36号の質疑を終結いたします。これより討論に移ります。討論ありませんか。なし。以上で討論終結。

◎水野 薫委員長

採決の結果、**全会一致**で可決すべきものと決す。

②議案第40号 平成23年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）について

大石管財課長：説明

◎堀内武治委員

二つ池の管理用道路用地を売るとのことだが場所はどこか。大池の県道の近辺のことか。

●杉村係長 場所は倉真の里在家地内にある。3区の倉真小の西側にある池で、ため池整備事業の進入路とし売却する。

○市長 倉真小学校の反対の山の所です。

◎水野 薫委員長

以上で議案第40号の質疑を終結いたします。これより討論に移ります。討論ありませんか。なし。以上で討論終結。

◎水野 薫委員長

採決の結果、**全会一致**で可決すべきものと決す。

13：23閉会